

世界主要コンクールの優勝者が奇跡の初共演!

Kamei Masaya × Yunchan Lim

亀井聖矢

ロンドン・ティボ国際音楽コンクール第1位、人気沸騰中のヴィルトゥオーゾ

圧倒的なピアノ・デュオがここに!

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール第1位、世界が注目する新鋭

イム・ユンチャン

リサイタル・シリーズ

Vol. 8

2024.2.1 [木] 19:00開演 (18:00ロビー開場)

東京芸術劇場 コンサートホール

全席指定(税込) ¥6,000/高校生以下¥1,000

発売日:芸劇メンバーズWEB先着先行 2023.11.7 [火] 10:00~11.9 [木] 23:59

一般発売 2023.11.18 [土] 10:00~

お申込み・お問合せ:東京芸術劇場ボックスオフィス (休館日を除く10:00~19:00)

0570-010-296

<https://www.geigeki.jp/t/>

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
協賛:スタインウェイ・ジャパン株式会社

PROGRAM

ラフマニノフ/
2台ピアノのための組曲第2番 Op.17
Rachmaninoff: Suite No.2 Op.17

ラヴェル/ラ・ヴァルス
Ravel: La Valse

ほか

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

お互いをリスペクトし合う俊英たち、彼らが生み出す化学反応に胸が高鳴る。

Kamei Masaya



©Yuji Ueno

亀井聖矢

2001年生まれ。2022年、ロン=ティボー国際音楽コンクールにて第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞。
日本音楽コンクール第1位、ピティナ特級グランプリ、マリア・カナルス国際ピアノコンクール第3位など、国内外での受賞を重ねている。N響、読響、東響、東京シティフィル、東京フィル、日本フィル、新日本フィルなど、国内の主要オーケストラと共演を果たす。これまでに、青木真由子、杉浦日出夫、上野久子、岡本美智子、長谷正一の各氏に師事。作曲を鈴木輝昭氏に師事。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、飛び入学特待生として桐朋学園大学に入学し、2023年3月に同大学を首席で卒業。2023年には、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、出光音楽賞、岐阜県芸術文化奨励賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞を受賞。2021-2022年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。第51回公益財団法人江副記念リクルート財団奨学生。現在、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース在籍中。

チケット料金

全席指定(税込) **6,000円 / 高校生以下 1,000円**※

※高校生以下チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い(枚数限定・要証明書)。
※障害者手帳をお持ちの方は、割引料金でご鑑賞いただけます。詳細は東京芸術劇場ボックスオフィスにお問合せください(要事前予約)。
※未就学児はご入場いただけません。
※開演時間に遅れますと、しばらくの間ご入場いただけない場合や、自席にご案内できない場合がございます。
※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更は承れません。
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等に変更が生じる場合がございます。
※ご来場前に必ず当劇場WEBサイト内の注意事項と本公演の直前情報をご確認ください。

チケットお取り扱い

▶ 東京芸術劇場ボックスオフィス **0570-010-296** (休館日を除く10:00~19:00)

▶ チケットぴあ

▶ イープラス

▶ ローソンチケット

お問合せ: 東京芸術劇場ボックスオフィス **0570-010-296** (休館日を除く10:00~19:00)

[東京芸術劇場託児サービス]
株式会社ミラクス ミラクスシッター ※有料・定員制・土日祝を除く
Tel: **0120-415-306** (平日9:00~17:00) 希望日1週間前迄に要予約

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
協賛: スタインウェイ・ジャパン株式会社

VS Vol.8

リサイタル・シリーズ

亀井聖矢とイム・ユンチャンは、2022年6月、アメリカ・テキサス州で行われたヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで出会った。亀井はセミファイナリストに、そしてイムは金メダリストになったわけだが、このときお互いの演奏を聴いたことが、今回の共演につながった。

亀井がファイナルの会場で、イムの弾く鮮烈なラフマニノフのピアノ協奏曲第3番を聴いた直後、感服した表情で「これだけの演奏をしてくれたら悔しさが少し薄らぐ」と話していたことが印象に残る。一方のイムもコンクール後、「亀井の演奏は、宝石を見つけたかのような発見だと思った」と教えてくれた。二人はコンテスト同士というライバル関係をこえて、才能を認めあっていたということだ。音楽づくりの方向性が似ている部分、逆にお互いにはないものに憧れる部分があるのだろう。レセプションで、いつか2台ピアノ公演をできたらいいねと話していた。

その共演が、こうして、東京芸術劇場のVSシリーズで実現することになったわけだ。クライバーンの5ヶ月後には、亀井はフランス・パリで行われたロン・ティボー国際音楽コンクールで優勝。人気と実力だけでなく、主要コンクール優勝者同士というキャリアの面でも渡り合う「VS」となった。

両者とも鮮やかな技巧に加え、ドラマティックな音楽を組み立てるセンスも持ち合わせる。亀井の豊かで艶やかなサウンドとイムの鋭敏で輝かしいサウンドが重なる演奏には、期待しかない。その場のインスピレーションで弾くことの多いイムが、3歳年上の亀井にどんなことを仕掛けていくのかも見ものだ。

若い才能のコラボレーション、ぜひ会場で聴き届けよう。

音楽ライター 高坂はる香



Yunchan Lim

イム・ユンチャン

2022年第16回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにおいて、史上最年少(18歳)でゴールド・メダルを受賞、併せて聴衆賞、最優秀新曲演奏賞を受賞。
韓国の始興市(シフン)生まれ。現在、韓国芸術総合学校に在籍。2018年、若いピアニストのためのクリーブランド国際ピアノコンクールで2位及びシヨパン特別賞を受賞。同年のクーバー国際コンクールでは最年少の参加者として注目を集め、3位と聴衆賞を獲得。2019年には最年少の15歳で韓国のユン・イサン国際コンクールで優勝及び二つの特別賞を受賞。ヴァン・クライバーンコンクール(優勝以降、世界中の指揮者とオーケストラから招待が殺到し、2022年12月にはサントリーホール、2023年1月にはロンドンのウイグモアホールでデビュー・リサイタルを成し遂げ、同年2月にはミハイル・プレトニョフ指揮で東京フィルと共演した。

チケット発売日

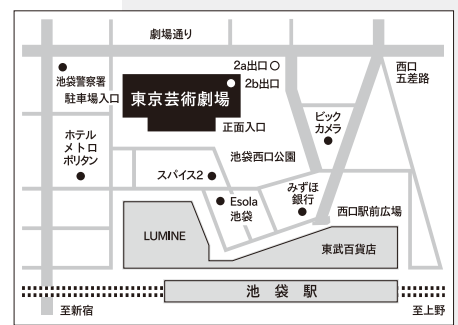
- ▶ 芸劇メンバーズWEB先着先行 **11.7[火] 10:00 ~ 11.9[木] 23:59**
- ▶ 一般発売 **11.18[土] 10:00 ~**

会場

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 TEL 03-5391-2111
▶ JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線
池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結。



シリーズ公演
2023.11.14[火] Vol.7
【出演】
河村尚子×アレクサンドル・メルニコフ
チケット好評発売中!




©Marco Borggreve ©Julien Mignot